

DENSO

株主のみなさまへ

第91期（2013年度）中間報告書 [2013年4月1日～2013年9月30日]

株式会社デンソー
(証券コード 6902)

ごあいさつ



取締役社長

加藤 宣明

2013年度第2四半期の業績

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年度第2四半期の業績は、北米地域での車両生産が増加したことや円安効果により、売上高は1兆9,879億円と、前期比で増収となりました。営業利益は、経費・労務費の増加があったものの、合理化努力に加え、売上増加による操業度差益や円安による為替差益などにより1,922億円、経常利益は2,146億円、四半期純利益は1,501億円と、いずれも増益となりました。上期としては、いずれも過去最高となり、リーマンショック後に取り組んだ構造改革の成果と考えています。

今期の取り組みとしては、特に技術開発の面で、様々な世界初製品を開発いたしました。たとえば環境分野では、トピックスでもご紹介している通り、世界初の技術「i-ART」を搭載し車両の燃費向上と排ガスの浄化に寄与するディーゼルエンジン用コモンレールシステムを、安全分野では、軽自動車初となる衝突回避・衝撃緩和に寄与する新型レーザーレーダーなどを商品化しました。開発体制については、日本・北米・欧州のほかに、アセアン・中国・インド・南米を含む7つの地域で現地顧客向けの地域最適製品の設計を行うとともに、北米・

欧州では地域に適した先行開発を強化しており、今後も技術開発の強化・加速を目指していきます。

2013年度通期の見通しについては、日本・北米での車両生産の増加を見込み、さらに、前提となる為替を見直し、第1四半期決算の予想に対し、通期予想を上方修正しました。売上高は、4兆100億円(前期比12.0%増)、営業利益は3,600億円(前期比37.2%増)と見込んでいます。

配当を上方修正し、 1株当たり47円の配当を実施

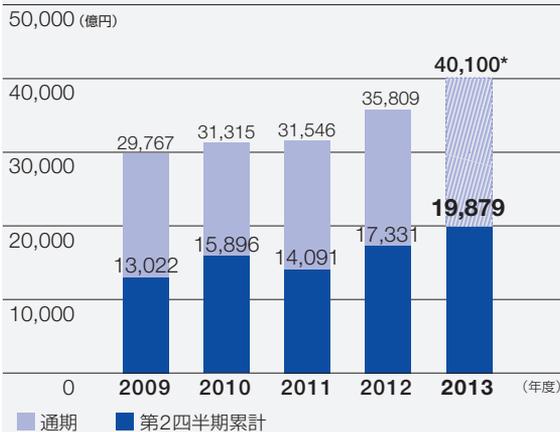
株主のみなさまへの利益還元は、安定配当を基本とし、中長期的には連結配当性向30%を目標にして取り組んでいます。当第2四半期末の配当金については、通期の業績見通しを踏まえ、当初予想を上方修正し、前年同期より20円増加の1株当たり47円とし、通期では94円を予定しています。

今後も株主のみなさまへの利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります。

2013年11月

■ 連結業績ハイライト

売上高



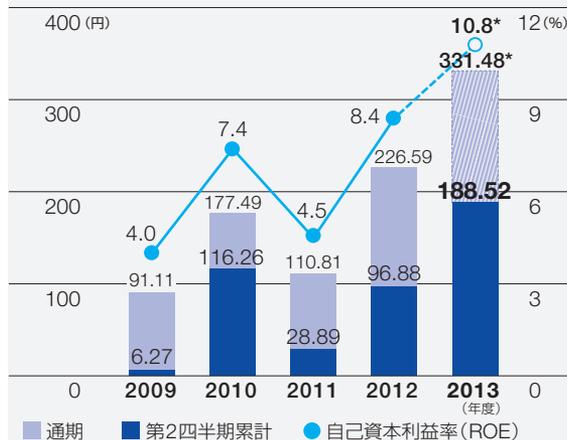
* 2013年度通期は見込み

経常利益・四半期(当期)純利益



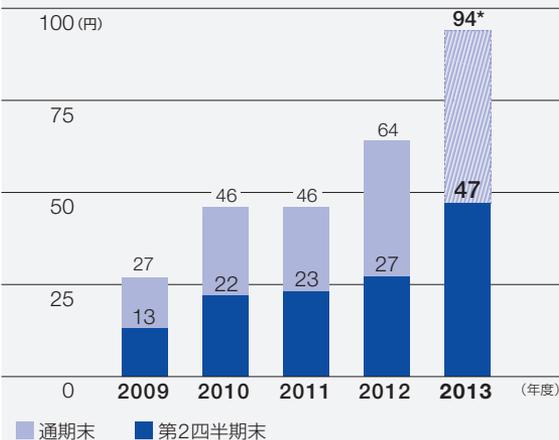
* 2013年度通期は見込み

1株当たり四半期(当期)純利益/自己資本利益率(ROE)



* 2013年度通期は見込み

1株当たり配当金



* 2013年度通期は見込み

特集 新事業分野への取り組み

当社は、自動車部品で培ってきた技術力をベースに、自動車以外の新事業分野の拡大に取り組んでいます。今回は新事業の重点8分野の活動をご紹介します。

マイクログリッド

エネルギーマネジメントを通じて低炭素社会の実現に貢献
住まいのエネルギーを効率的に利用するHEMS*を中心に、省エネ・蓄エネ機器・PHV/EV用V2H**の事業に取り組んでいます。

*Home Energy Management System **Vehicle to Home

セキュリティ

製品紹介 P4へ

センシング技術で、暮らしの安心・安全に貢献

センシング技術を活用してセンサーや画像処理を組み合わせ、遠隔地からでも監視できるシステムを開発しています。

電動モビリティ

新しいモビリティを通じ、人の安全・豊かなライフスタイルづくりに貢献

当社の各種センサー技術や制御技術を活用した新しいモビリティの部品開発を行っています。

ヘルスケア

製品紹介 P5へ

人々のQOL*向上に貢献

生体センシング機器・システムなどを通じて生活習慣病の予防・早期発見を支援し、健康で安心な生活に貢献する製品を提供しています。

*Quality of Life : 人生の内容の質や生活の質のこと

新事業の重点8分野

農業支援

農業生産の効率化・安定化に貢献

ハウス環境制御システム・省エネ技術を通じ、効率的・安定的な野菜の栽培と、農業の競争力向上に貢献します。

コールドチェーン

安心・安全な食生活に貢献

産地から一気通貫のコールドチェーン網を構築し、鮮度を保つ移動式電動冷蔵庫の開発や、物流管理システム全体を含めたサービスの実用化を進めています。

トータルライフサポート

安心・快適に暮らせるコミュニティの実現に貢献

地域情報や災害情報を配信したり、マイクログリッドやセキュリティなどと連携したサービスを提供して、住民の安心・快適な暮らしをサポートするビジネスを目指しています。

バイオ

脱化石燃料による地球環境保護に貢献

バイオ技術で藻から有用成分を産出し、脱化石資源を目指しています。善明製作所(愛知県西尾市)で、藻を培養しCO₂を吸収させてバイオ燃料を生産する新しい研究に取り組んでいます。

新事業分野の製品紹介

セキュリティ

遠隔見守りシステム「ZONE D(ゾーン ディ)」

長年の自動車部品開発で培ったレーザーセンシング技術を防犯用のレーザーセンサーに応用し、人や物体の検知と、カメラによる自動追尾機能を備えたセキュリティシステムを開発しました。この製品は、(株)デンソーセールスで販売しています。

リアルタイムで現場確認と音声警告

侵入者を遠隔地からスマートホンなどで確認でき、侵入者に向けて音声で警告するなど、リアルタイムな対応ができます。

セキュリティと業務支援の1台2役

店舗や工場などの特定エリアの見守りに加え、来客認識による店舗スタッフへの顧客情報表示などの業務支援としても活用できます。



「ZONE D」の核となる先進のレーザーセンサー性能

1. 複数の検知エリアを自由な形で設定 **業界初**

広範囲をカバーする面検知レーザーセンサーは、エリアごとに起動するシステムを割り当てるなど、同一敷地内での個別エリアのセキュリティ設定を可能にしました。

2. カメラ自動追尾機能を内蔵 **業界初**

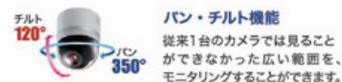
レーザーセンサー内蔵のカメラ自動追尾機能により、見守りエリアに侵入した人や物体の動きを検知して、カメラが自動的に追尾・ズームを行い、撮影画像の識別力の大幅なアップを実現しました。

3. 高度な検知で、少ない誤判定

レーザーレーダーと独自のフィルタリング技術により、小鳥、小動物、枝葉の揺らぎなどのノイズを除去し、屋外や暗闇でも人や物体の位置と動きを高精度に検知します。



■推奨カメラの特徴(ハイビジョンPTZカメラ)



メガピクセル対応高倍率ズーム

高画質のまま、36倍のズームが可能です。



睡眠時無呼吸症候群を検査できる「スリープアイ」

睡眠中に断続的な無呼吸や低呼吸が繰り返される睡眠時無呼吸症候群（SAS: Sleep Apnea Syndrome）が、日中の眠気による集中力の低下や居眠り運転による事故原因の一つとして社会的な注目を浴びています。

健診施設や医療機関などでは、SASの疑いがあるかどうかを判定するために、スクリーニング機器を使用しています。当社は、自動車用乗員検知センサー技術を応用し、寝具の上に敷いて寝るだけで睡眠時無呼吸症候群の簡易検査ができる医療機器として、「スリープアイ」を2013年8月に発売しました。

これは、微妙な圧力の変化から呼吸による変化のみを抽出する独自の手法により無呼吸時特有の呼吸状態の変化を検出し、計測するものです。



寝具にセット



測定開始

最近では、輸送業界で安全に対する関心が高まる中で、ドライバーの方々の検査に活用される事例も多くなっています。当社は、“非拘束型”の特長を持つ「スリープアイ」の普及を通じ、健康で安心な生活に貢献していきます。

自動追従型手台ロボット「iArmS」

長時間の手術に対して、より安定した手術品質を提供する自動追従型手台ロボット「iArmS」を、信州大学医学部や東京女子医科大学と連携して開発しています。当社が培ってきたロボット技術を活用し、術者の手のふるえや疲れを低減するもので、ニーズの高い分野での活用を目指しています。

新製品・新技術

TOPIC 01

燃費向上と排ガス浄化に寄与するディーゼルエンジン用コモンレールシステムを開発

コモンレールシステムは、ディーゼルエンジンにおいて主流の燃料噴射システムです。新製品は、最大2,500気圧の燃料噴射圧力を実現し、従来のシステムと比べ、車両の燃費を最大3%向上させるとともに、排ガス中の有害物質であるPM(粒子状物質)の発生を最大50%、NOx(窒素酸化物)を最大8%削減することができます*。当社は、各インジェクターに内蔵された圧力センサーが噴射圧をリアルタイムに測定し、インジェクターごとに噴射量やタイミングを制御することがで

きる世界初のエンジン制御システム「i-ART (intelligent-Accuracy Refinement Technology)」を商品化しました。今後もディーゼル車の環境性能向上に貢献する技術・製品の開発に取り組んでいきます。

※デンソー調べ



コモンレールシステム
(左からポンプ、インジェクター、
コモンレール)

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2013/130626-01.html>

TOPIC 02

ドイツの研究開発拠点を拡充

ドイツのヴェグバーク市とエヒング市にあるデンソー・オートモーティブ・ドイツの二つの技術センターを拡充し、欧州での技術開発力を強化します。両技術センターでは、オフィス棟を新たに建設するとともに、新規の評価設備などを導入します。2015年までに、両技術センター合わせて約2,100万ユーロ(約27億円)を投資します。



アーヘン・エンジニアリング・センター
新オフィス棟イメージ



ミュンヘン・エンジニアリング・センター
新オフィス棟イメージ

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2013/130912-01.html>

TOPIC 03

画像認識技術を開発するアダセンス社に資本参加

安全分野の技術開発を強化するため、先進予防安全にかかわる画像認識技術を開発する、アダセンス・オートモーティブ社に出資することを決定しました。同社はスペインの自動車システム・部品メーカーであるフィコサ・インターナショナル社のグループ会社で、フィコサ社からアダセンス株を取得します。出資時期は2013年末の予定で、出資比率は50%です。今回の協業により、予防安全分野における技術開発の強化・加速を目指します。

<アダセンス社の概要>

1. 社名 : ADASENS Automotive GmbH
アダセンス・オートモーティブ社
2. 所在地 : ドイツ・ヴァイセンベルク市
3. 出資比率 : <出資前> フィコミラーズ社* 100%
<出資後> フィコミラーズ社 50%
デンソー・インターナショナル・ヨーロッパ社 50%
*フィコサ・インターナショナル社のグループ会社
4. 業務内容 : 先進予防安全の画像技術開発

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2013/130926-01.html>

セグメント情報

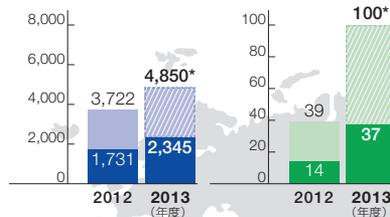
地域別(当社グループの所在地別)売上高・営業利益

(単位: 億円)

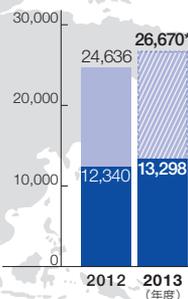
* 2013年度通期は見込み

売上高 ■ 通期 ■ 上半期 営業利益 ■ 通期 ■ 上半期

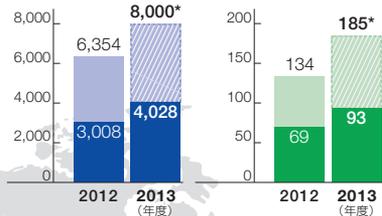
欧州



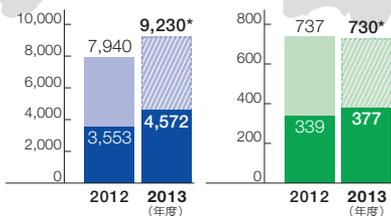
日本



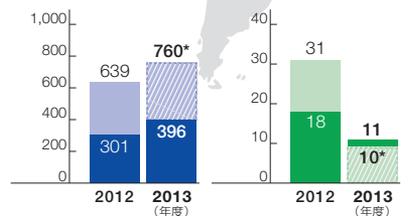
北米



豪亜



その他*



※ブラジル、アルゼンチンなど

■ 日本

国内車両生産台数は減少したものの、海外向け売上の増加や円安効果により、増収増益になりました。

■ 北米

好調な経済による車両生産の増加や円安効果により、増収増益になりました。

■ 欧州

低迷した市場が底を打ったことに加え、円安効果により、増収増益になりました。

■ 豪亜

新興国における市場の成長に伴う車両生産の増加や円安効果により、増収増益になりました。

主な得意先

国内	トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、ダイハツ工業(株)、スズキ(株)、富士重工業(株)、マツダ(株)、日野自動車(株)、いすゞ自動車(株)、日産自動車(株)、三菱自動車工業(株) 他
海外	GM、現代・起亜、フィアット、フォード、クライスラー、アウディ・フォルクスワーゲン 他

製品別売上高

生活関連機器



自然冷媒 (CO₂)
ヒートポンプ式給湯機

産業機器

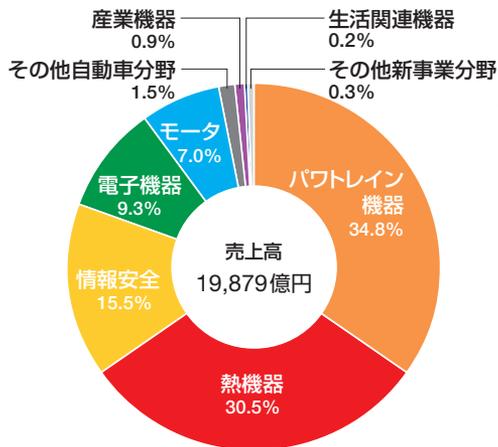


産業用
ロボット

モータ



ワイパシステム



電子機器



エンジン制御
コンピュータ

パワトレイン機器



オルタネータ

インバータ

ディーゼル車用
コモンレールシステム

熱機器



エアコンユニット

情報安全



コンビネーション
メータ



カーナビゲーション
システム

テレビCM放映のお知らせ

現在放映中のCMでは、「世界の命を、技術で守りたい」「この惑星を、技術で守りたい」という想いを込め、当社の安全・環境分野の製品を紹介しています。



紹介技術

安全編

- ナイトビュー
- ブリクラッシュセーフティシステム
- ヘッドアップディスプレイ

環境編

- ハイブリッド車用技術
- 内燃機関の効率向上
- バイオ燃料の研究

テレビCMは、ホームページでも視聴できます。

<http://www.denso.co.jp/ja/aboutdenso/ad/cm/index.html>

四半期連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	2013年度 第2四半期末	2012年度末	科目	2013年度 第2四半期末	2012年度末
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,359,818	2,281,886	流動負債	1,055,165	973,546
現金及び預金	647,028	665,152	支払手形及び買掛金	459,713	456,603
受取手形及び売掛金	604,160	586,312	短期借入金	95,229	56,272
有価証券	485,424	430,052	その他の流動負債	500,223	460,671
たな卸資産	397,394	370,662	固定負債	584,619	578,686
その他の流動資産	225,812	229,708	社債	80,000	90,000
			長期借入金	225,586	261,248
固定資産	1,935,075	1,697,207	その他の固定負債	279,033	227,438
有形固定資産	955,510	886,160	負債合計	1,639,784	1,552,232
機械装置及び運搬具(純額)	361,587	341,227	(純資産の部)		
その他の有形固定資産(純額)	593,923	544,933	株主資本	2,318,021	2,164,098
無形固定資産	21,403	15,456	資本金	187,457	187,457
投資その他の資産	958,162	795,591	資本剰余金	268,488	267,332
資産合計	4,294,893	3,979,093	利益剰余金	2,084,225	1,933,814
			自己株式	△222,149	△224,505
			その他の包括利益累計額	215,325	135,966
			その他有価証券評価差額金	314,345	226,354
			繰延ヘッジ損益	50	17
			為替換算調整勘定	△76,215	△90,405
			退職給付に係る調整累計額	△22,855	-
			新株予約権	919	2,293
			少数株主持分	120,844	124,504
			純資産合計	2,655,109	2,426,861
			負債純資産合計	4,294,893	3,979,093

■ 連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	2013年度 第2四半期累計	2012年度 第2四半期累計
売上高	1,987,862	1,733,129
売上原価	1,620,490	1,460,879
売上総利益	367,372	272,250
販売費及び一般管理費	175,185	135,980
営業利益	192,187	136,270
営業外収益	29,739	19,503
受取利息配当金	11,051	7,904
その他	18,688	11,599
営業外費用	7,289	6,529
支払利息	3,508	3,209
その他	3,781	3,320
経常利益	214,637	149,244
特別利益	16	547
特別損失	62	12,419
税金等調整前四半期純利益	214,591	137,372
法人税、住民税及び事業税	56,847	41,442
過年度法人税等	3,610	6,109
法人税等調整額	△6,787	3,741
少数株主利益	10,839	8,007
四半期純利益	150,082	78,073

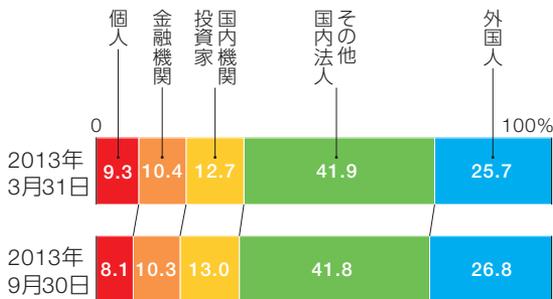
■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	2013年度 第2四半期累計	2012年度 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,699	206,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248,021	△186,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,803	△74,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,056	△11,009
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,069	△65,596
現金及び現金同等物の期首残高	707,330	665,409
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	17
現金及び現金同等物の四半期末残高	663,261	599,830

株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式総数	884,068,713 株
株主数	62,008 名

株式保有者別分布状況 (議決権比率、%)



会社の概要

会社データ

社名	株式会社デンソー
本社所在地	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511(案内)
設立年月日	1949年12月16日
資本金	1,874億円
従業員数(連結)	132,276名(就業員ベース) (2013年3月31日現在)

役員 (2013年11月1日現在)

取締役

取締役社長	加藤 宣明	専務取締役	鹿村 秋男
取締役副社長	徳田 寛	専務取締役	丸山 晴也
取締役副社長	小林 耕士	専務取締役	田島 明雄
取締役副社長	杉 光	専務取締役	安達 美智雄
取締役副社長	宮木 正彦	専務取締役	若林 宏之
専務取締役	広中 和雄	専務取締役	若田 悟志
専務取締役	白崎 慎二	取締役	豊田 章一郎

大株主 (上位10名)

大株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	197,193	24.77
株式会社豊田自動織機	69,373	8.72
東和不動産株式会社	33,309	4.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	32,150	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	28,042	3.52
日本生命保険相互会社	22,848	2.87
デンソー従業員持株制度会	13,879	1.74
ステート ストリートバンク アンド トラストカンパニー	13,223	1.66
アイシン精機株式会社	12,518	1.57
ザ チェース マンハッタンバンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	10,657	1.34

注) 当社は自己株式87,617千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

監査役

常勤監査役	渡辺 敏男
常勤監査役	岩瀬 正人
監査役	張 富士夫*
監査役	齋藤 勉*
監査役	近藤 敏通* *社外監査役

常務役員

Manfredo Nicoletti	村上 幸彦	近藤 文一
榎野 孝和	伊奈 博之	鶴田 真徳
山中 康司	桑村 信吾	飯田 康博
山田 昇	豊田 達也	伊藤 健一郎
伊藤 正彦	加藤 之啓	松木 秀明
加藤 俊行	都築 昇司	山口 真介
鎌居 健一郎	加藤 良文	梶田 宜孝
臼井 定広	村上 正尚	奥地 弘章
有馬 浩二	篠原 幸弘	海老原 次郎
下川 勝久	木村 和昌	

株式会社 デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
TEL.0566-25-5511(案内)
www.denso.co.jp

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：6月
配当金支払い：3月31日
株主確定日：なお、中間配当を実施する場合は9月30日です。
単元株式数：100株
証券コード：6902
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

株式に関するお手続きについて

◎ 住所変更・買取(買増)請求・配当金受取方法の指定等 各種お手続きについて

証券会社に口座をお持ちの株主さまは口座のある証券会社へ、特別口座に口座をお持ちの株主さま(株券電子化移行に伴い、株券を証券保管振替機構に預託していない株主さま)は特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

配当金のお受取について

◎ 中間配当金のお受取について

第91期中間配当金のお受取期間は2013年12月30日(月)までとなっております。株主配当金領収証記載事項に従い、お早めにお受取りください。

◎ 支払期間経過後の配当金について

三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

<表紙について>

燃費向上と排ガス浄化に寄与するディーゼルエンジン用
コモンレールシステムをモチーフにしています。詳細
は6ページをご覧ください。



この冊子は環境にやさしい植物インクを
使用しています